

今回は、クラウンのクリアランスを確認するツールをご紹介します。

最近の金属価格の高騰は、先生方にとって頭の痛い大きな問題になっているかと存じます。

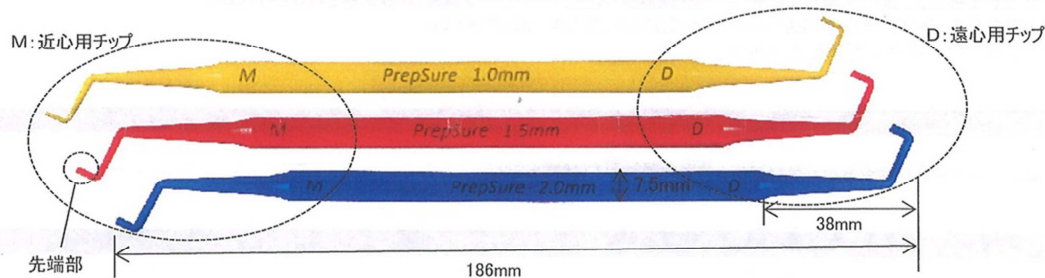
この事態への対応策の一つとしてFMCに対する支台歯のクリアランスを設定することが考えられます。

今回ご紹介させて頂くこのツールを使用することで、FMCの支台歯形成においては必要最小限のクリアランスの確保をし、金属の使用量を抑えることに繋げることが可能になり、またCAD/CAM冠の支台歯形成についてはCAD/CAM冠自体の強度を持たすためのクリアランス(CAD/CAM冠の厚み)の確保を確認することができます。

「プレップシュアII」以外の類似品もございますので、このようなツールの活用も、どうぞお試しください。

## プレップシュアII

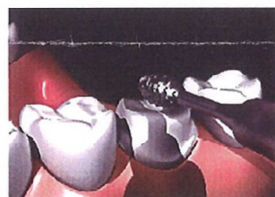
### 形状及び寸法



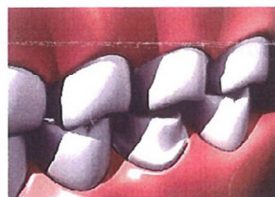
種類(チップ先端部の直径): 1.0mm、1.5mm、2.0mm  
材質: アセタール樹脂

### ご使用方法

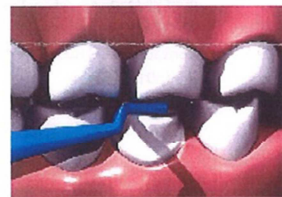
- 1.使用する補綴物の材質に応じて、使用する種類を選びます。
- 2.使用する前に滅菌ポーチに入れ、オートクレーブ滅菌(最大 132°C、10 分間、最大圧力 30psi)を行います(乾燥工程を除く)。
- 3.以下の手順にて行って下さい。



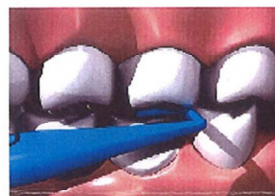
補綴物の材質に応じて、おおよその形成量にて形成します。



形成を続ける前に、クリアランスを確認します。



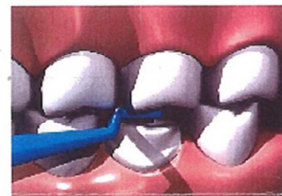
プレップシュアIIの近心用チップを形成歯のクリアランスに挿入し、近心面から咬合面まで滑らせるようにして、形成量を確認します。



プレップシュアIIの遠心用チップを形成歯のクリアランスに挿入し、遠心面から咬合面まで滑らせるようにして、形成量を確認します。



チップが押しつけられたり、咬合できない場合は、不十分な形成量のため、形成が不足している部分の再形成を行います。



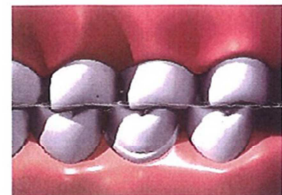
再形成後、プレップシュアIIの近心用チップを形成歯のクリアランスに挿入し、近心面から咬合面まで滑らせるようにして、形成量を確認します。



プレップシュアIIの遠心用チップを形成歯のクリアランスに挿入し、遠心面から咬合面まで滑らせるようにして、形成量を確認します。



プレップシュアIIの両チップが、形成歯のクリアランスを滑らかに通過させることができれば、支台歯形成に必要な最小限で正確なクリアランスの確保ができています。



2月に岡崎事業所営業課外交班勤務として入社した二瓶と申します。お取引先様からお預かりした大切な模型を确实・丁寧に扱わせて頂き迅速に補てつ物をお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

岡崎事業所営業課 外交班



● 新MEMBERの紹介 ●